

■11月28日

ボーイング、GE製エンジン問題 : 国交省、耐空性改善命令通達へ

(bloombergによると)

国土交通省は27日、日本航空と日本貨物航空(NCA)の2社に近く運航の安全性を高めるための耐空性改善命令を通達する。氷結によりエンジン出力性能が低下する恐れのある米ゼネラル・エレクトリック(GE)製エンジン搭載の航空機を両社が保有しているための措置。

国交省航空局安全部の藤林健太郎課長補佐が同日、ブルームバーグ・ニュースの電話取材に語った。対象となるのはGE製エンジンを搭載した米ボーイングの最新鋭旅客機B787と大型機のB747-8の2機種。具体的には、積乱雲周辺空域から50カイリ(約90キロ)以内を飛行禁止とすることで氷結の危険を回避する。

米連邦航空局(FAA)は既に、米国内の航空会社に対して耐空性改善命令(AD)を出し、推進力低下の恐れのある高高度の氷結条件を避けて飛行するよう操縦士に指示しており、国交省の対応もこれを受けたもの。

日航は既に23日に、安全性は確保できているものの、ボーイングの飛行規程の改定で、一部のアジア路線で使用する機材をB787からB777やB767など他のジェット機に変更すると発表済み。

(Bloomberg)11/27

<http://www.bloomberg.co.jp/news/123-MWX4EO6JTSEP01.html> (-> <http://www.bloomberg.co.jp/news/123-MWX4EO6JTSEP01.html>)

ボーイング、GE製エンジン問題 : FAA、(->) 氷結問題検査命令

(ロイターによると)

米連邦航空局(FAA)は27日、米ゼネラル・エレクトリック(GE)製のGEnxエンジンを搭載した米ボーイング787型機と747-8型機で氷結が見られた場合、これらエンジンをすべて検査するよう米航空各社に命じる耐空性改善命令を出した。

FAAはまた、パイロットがこれらの機体で高高度や、氷結を招くような気象条件で飛行することを禁じた。

FAAによると、これまで9便でエンジンの氷結が起り、うち747-8型機の2便では4つあるエンジンのうち2つが影響を受けていた。これらの便では高高度で激しい雷雨が起こった際、氷結晶が入り込んでエンジンを傷つけ、一時的に推力が失われたり、推力は失われませんが振動が増すなどの現象が見られた。

FAAは「回復不可能な推力喪失」が複数のエンジンで起これば「運航停止命令につながりかねない」との懸念を示している。

GEは9件いずれにおいても回復不可能な推力の喪失は無かったと指摘した。

耐空性改善命令は直ちに発効。飛行中に「エンジン推力」インジケーターが灯った場合にはGEnxエンジンを検査するよう航空会社に命じている。

FAAによると、命令が適用されるのは米航空会社が運航する14機。ただ、外国の航空当局は通常、FAAの命令に追随する。

(ロイター)11/28

<http://jp.reuters.com/article/marketsNews/idJPL4N0JC3ZA20131127> (-> <http://jp.reuters.com/article/marketsNews/idJPL4N0JC3ZA20131127>)

航空4社、26日から中国への飛行計画提出取りやめ、予定通りの運航

中国が尖閣諸島上空周辺を含む東シナ海に防空識別圏を設定した問題をめぐり、ANAホールディングと日航、ピーチ・アビエーション、日本貨物航空は、国の要請に従い、中国当局への飛行計画提出を27日から取り止めた。同空域内を通過する路線はJALが1日10便、ANAは同27便(貨物便含む)あるが、これまでのところ予定通り運航している。

日航、全日空のほかピーチ・アビエーション、日本貨物航空。中国が尖閣諸島(沖縄県石垣市)周辺に防空識別圏を設定したことを受け、安全確保の観点から26日は中国当局に計画を提出した。これに対し国交省は、国内航空会社でつくる業界団体「定期航空協会」や非加盟のピーチなど格安航空会社(LCC)に、飛行計画を提出しないよう求めていた。定期航空協会は「政府から説明を受け、中国に計画を提出しなくても飛行の安全性への懸念はないとの判断に至った」と説明した。日航や全日空は27日、自社ウェブサイトに経緯を紹介している。

■国交省 HP

<http://www.mlit.go.jp/common/001020199.pdf> (-> <http://www.mlit.go.jp/common/001020199.pdf>)

なお、韓国の航空会社は中国に飛行計画を提出するなど特別な措置を取らず、防空圏を通過する便も通常通り運航している。

一方、台湾の交通部(交通省)は同日から防空圏を通過する民間航空機の飛行計画を中国当局にメールで通知している。松山、桃園、高雄の三つの空港から日本、韓国、米国など北に向かう1日約100便が対象となっている。

(ロイター)11/27

<http://jp.reuters.com/article/topNews/idJPTYE9AQ06220131127> (->

<http://jp.reuters.com/article/topNews/idJPTYE9AQ06220131127>)

(国交省プレスリリース)11/26

http://www.mlit.go.jp/report/press/kouku02_hh_000068.html (-> http://www.mlit.go.jp/report/press/kouku02_hh_000068.html)

(時事ドットコム)11/26

http://www.jiji.com/jc/c?g=int_30&k=2013112700781 (-> http://www.jiji.com/jc/c?g=int_30&k=2013112700781)

http://www.jiji.com/jc/c?g=int_30&k=2013112700792 (-> http://www.jiji.com/jc/c?g=int_30&k=2013112700792)

静岡県、静岡空港運営会社へ出資補正予算案提出

(毎日新聞によると)

静岡県は12月2日からの県議会定例会に提出する補正予算案を発表した。静岡空港の運営会社「富士山静岡空港株式会社」に1億1000万円を出資し、また来年4月に同社が保有する旅客ターミナルビルなどを取得するため、2013～14年度に限度額22億1000万円の支出を認めるよう求める。

静岡県は今年4月、有識者会議の答申を受け、ターミナルビルを取得して増改築するとともに、同社に出資して県の責任を明確化し、将来的に空港運営の民間譲渡を目指す方針を示した。予算案が認められれば、県は同社の筆頭株主となる

(毎日新聞)12/27

<http://mainichi.jp/area/shizuoka/news/20131127ddlk22010100000c.html> (->

<http://mainichi.jp/area/shizuoka/news/20131127ddlk22010100000c.html>)

日航、ボーイング767、新ビジネスクラス、フルフラットリクライニングシート発表、アジア路線へも投入

日航は26日、12月9日から順次国際線に投入される新機内仕様のボーイング767-300ER型機を披露した。新たな仕様では、ビジネスクラスは全席通路アクセス可能な180度水平になるフルフラットリクライニング新シートを採用。エコノミークラスは、777-300ER型機同様、前後の座席間隔を広げ、シートをスリム化して足元スペースを最大約10cm拡大した。12月1日から成田～バンクーバー線を皮切りに、その後、1月からクアラルンプール線など順次、東南アジア線、ホルルル線などに投入していく予定。また、今回の767型機の改修では、主翼にウイングレットも装着した。今年度中に4機、13年度夏までに全9機を改修していく。

機内ビジネスクラスレイアウトは、1-2-1(現行2-2-2)に変更、座席数は現在の30席から24席となる。一方、エコノミークラスは、現在の197席～207席から175席に変更しつろぎ感を増す。

(日刊航空)11/27

<http://www.da-news.co.jp/xhp/today.htm> (-> <http://www.da-news.co.jp/xhp/today.htm>)

エアバス、中南米マーケット、来年航空機数目標シェア52%、ボーイング追い抜きを表明

エアバスは2014年、中南米で運行する航空機数で初めて米ボーイングを追い抜くことを目指していると表明した。

エアバスは、過去6年のうち5年、中南米での販売でボーイングを抑えている。来年は、同地域における両社航空機の

総数中、52%を占めることを見込んでいる。

(ロイター)11/27

<http://jp.reuters.com/article/companyNews/idJPL4N0JC0JE20131127> (->

<http://jp.reuters.com/article/companyNews/idJPL4N0JC0JE20131127>)

エアアジア(LCC)、トニー・フェルナンデスCEO、ビンセント・タン氏と、ビジネスクラスのジェット事業計画

(マレーシアナビによると)

ベルジャヤ・グループを率いるビンセント・タン氏と格安航空会社エアアジアのトニー・フェルナンデス最高経営責任者(CEO)は、セランゴール州の「スバン・スカイパーク」においてビジネス・クラスのジェット事業を計画している模様だ。英字紙「ザ・スター」によると、2011年にも両者は協議を行っていたが、当時は打開されなかった。協議は再開されているが、協力して事業を展開するか、別々に行うかはまだ明らかになっていない。

プレミアム航空会社ケーターハム・ジェットがベルジャヤ・エアの株式の過半数を取得するための仮契約に調印した模様だが、航空当局からの回答待ちだと見られている。ベルジャヤ・エアは「スバン・スカイパーク」におけるAOCを取得している。

フェルナンデスCEOは、2011年にケーターハム・ジェットの設立を発表したが、「スバン・スカイパーク」からの運航に関する航空当局からの運航者証明書(AOC)を取得できていなかった。

一方で、ベルジャヤ・エアは現在ティオマン島やレダン島へ運航を行っている。ペナン島やパンコール島、ランカウイ島にも運航していたが赤字を計上していたため現在運航を停止している。

(マレーシアナビ)11/28

<http://www.malaysia-navi.jp/news/?mode=d&i=2641> (-> <http://www.malaysia-navi.jp/news/?mode=d&i=2641>)

アメリカン航空、USエア、12月9日に合併完了

米航空大手アメリカン航空の親会社AMRは27日、USエアウエイズ・グループとの合併を、12月9日に完了する予定だと発表した。

合併新会社の名称は「アメリカン航空グループ」。ニューヨーク証券取引所に現在上場しているUSエアの株式は上場廃止となり、新会社株が米ナスダック市場で取引される。

(時事ドットコム)11/28

http://www.jiji.com/jc/c?g=int_30&k=2013112800090 (-> http://www.jiji.com/jc/c?g=int_30&k=2013112800090)